



2023年5月24日

各 位

会社名 トーヨーカネツ株式会社  
代表者名 代表取締役社長 大和田 能史  
(コード番号 6369 東証プライム市場)  
問合せ先 専務執行役員 ソリューション事業本部長 小林 康紀  
(TEL. 03-5857-3333)

## **株式会社スクラムソフトウェアの株式取得(子会社化)に関するお知らせ**

当社は、2023年5月12日開催の当社取締役会において、株式会社スクラムソフトウェア(以下、スクラムソフトウェア)の発行済株式の全てを取得することを決議し、同社株主と締結した株式譲渡契約書に基づいて6月2日付で全株式を取得し、完全子会社として当社グループに迎えることを決定いたしましたので、お知らせいたします。

なお、本件は適時開示基準には該当しませんが、有用な情報と判断し任意開示を行うものです。

### **1. 株式取得の背景・理由**

#### **物流ソリューション事業の領域拡大に向けて**

近年、当社の物流ソリューション事業では、Eコマースや生協業界などにおいて飛躍的に市場が拡大する中で、物流センターにおける商品の入荷から出荷までの機能・プロセス全体のエンジニアリングやコンサルティングに事業領域を拡大することで、お客様の期待を超えるソリューションの提供を目指しております。とりわけ、WMS(倉庫管理システム)構築体制の強化による、物流センターにおける入荷・出荷とその前後工程のデータ連携による効率化など、当社のノウハウが活かせる新領域への進出にも注力しております。

#### **スクラムソフトウェアのグループ参画によるWMS構築体制強化**

上記のような方針の中、創業以来、スクラムソフトウェアが物流領域で培ってきたWMSやTMS(輸配送管理システム)などのシステム開発力と、当社のマテリアルハンドリング設備を中心としたソリューション構築力を掛け合わせることで、両社が活躍するフィールドをさらに広げ、共に成長することができると判断し、本件の実行に至りました。また、IT分野における人材確保・技術獲得の面でも、本件が有効であると考えております。

今後は、トーヨーカネツグループとして、さらなる付加価値を生み出すシステムの構築を実現し、お客様のロジクス戦略の実現、ひいては、物流DXの推進に貢献すべく、共に未来に向かって前進してまいります。

#### **<トーヨーカネツの物流ソリューション事業について>**

当社は「わが社は常にすすんでよりよきものを造り社会のために奉仕する」を社是として、社会インフラを支える諸事業を展開しております。なかでも、主力事業である物流ソリューション事業では、「ACTION FOR NEXT LOGISTICS 未来の物流システムを支えるチカラになる」をスローガンに掲げ、マテリアルハンドリングシステムを中心とした効率化・自動化ソリューションの提供により、事業領域の拡大で高成長企業へ進化することを基本方針とし、国内外のパートナー企業との連携・協業を推進しております。

## 2. 異動する子会社の概要

(1) 名称	株式会社スクラムソフトウェア
(2) 所在地	大阪府大阪市中央区南船場1丁目5番21号 大日南船場ビル 3F
(3) 代表者氏名	代表取締役社長 山本 剛 代表取締役専務 藤川 泰久
(4) 事業内容	物流・流通システムに特化したコンピューターシステムの設計・開発・製造 および販売(スクラッチ開発、パッケージの適用・カスタマイズ、開発ツ ール、データベースミドルウェアの評価・選定)
(5) 資本金	6,000 千円
(6) 設立年月日	2005 年 3 月 22 日
(7) 従業員数	17 名
(8) 当社と当該会社 との関係	記載すべき資本関係、人的関係及び取引関係はありません。
(9) HP	<a href="https://scrumsoftware.co.jp/">https://scrumsoftware.co.jp/</a> (外部リンクに移動します)

## 3. 取得株式に係る議決権割合及び取得前後の議決権割合の状況

(1) 異動前の所有株式数	0 株 (議決権所有割合 0%)
(2) 取得株式数	120 株
(3) 異動後の所有株式数	120 株 (議決権所有割合 100%)

## 4. 当社連結業績への影響

本件株式取得による2024年3月期の当社連結業績に与える影響につきまして、開示すべき事項が生じた場合は、速やかにお知らせいたします。

以 上